

海津市まちづくり委員会「第11回ふるさと定住促進検討分科会」視察研修報告

視 察 先 恵那市
開 催 年 月 日 平成22年6月24日（木）
出 席 委 員 数 10名

出 席 者 ○分科会委員
岐阜経済大学経済学部教授 池 永 輝 之
公募市民 村 上 碩 也
公募市民 本 多 高 洲
公募市民 古 川 義 弘
公募市民 藤 田 繁 己
公募市民 堀 田 義 郎
公募市民 加々本 紘一
公募市民 柴 田 夕 子
公募市民 伊 藤 祥 子
女性人材リスト登録者 石 川 晴 代

○事務局 企画政策課 課長 中 島 哲 之
" 係長 後 藤 政 樹
" 主任 毛 利 卓 司

欠 席 者 公募市民 坂 本 由 貴
高須生活学校代表 加 藤 佳 余 子
海津市自治連合会代表 諏 訪 薫
女性人材リスト登録者 安 部 晶 子

研修内容

1. 中野方まちづくり委員会 食堂部「味菜」視察
2. 日本棚田百選「坂折棚田」視察
3. 恵那市の定住施策について研修（場所：恵那市公民館）

<恵那市対応者>

まちづくり推進課 課長 門野誠一 氏
" 係長 熊谷春彦 氏
企画課ふるさと活力推進室 室長 小林敏博 氏

<施策説明>

- ・定住促進サポート事業
- ・えなの木で家づくり支援事業（移住＋産業振興）
- ・空き家紹介制度
- ・奨学金制度と定住
- ・地域自治区について

視察研修報告

◎中野方まちづくり委員会 食堂部「味菜」視察

- ✓ 地域住民（主に高齢者）が主体的に運営している。
- ✓ 高齢者の生きがいづくり、活躍の場となっている。
- ✓ 地域で採れた農産物を使った食堂の運営
- ✓ 農産物の販売



▲ 味菜（あじさい）

◎日本棚田百選「坂折棚田」視察

『坂折』の棚田は恵那市中野方町の北西部（坂折地区）に位置し、400年ほど前から築かれ始め、明治時代初期にはほぼ現在の形に形成されました。地区の中央には坂折川が流れ、その両岸の標高410m～610m付近の東向きの斜面に作られた石積みの棚田で、『はしご田』と呼ばれる石積み棚田が点在する全国でも有数の美しい景観を有しており、平成11年に農林水産省の『日本の棚田百選』に認定されました。

※棚田とは、傾斜地に階段状に築いた水田のことで、別名『千枚田』とも呼ばれています。



◎恵那市の定住施策について

- ・定住促進サポート事業
固定資産税の減免と奨励金の交付<市外向け>
→制度自体に定住促進効果があるか
→在住市民の理解が得られているか
- ・えなの木で家づくり支援事業
→移住定住政策と産業（林業）振興に寄与している
- ・空き家紹介制度
農家住宅等の空き家情報を紹介し、所有者と希望者のマッチングを行っている。
→実績（購入）はない
- ・奨学金制度と定住
大学卒業後（就職後）恵那市内に定住している場合は、定住期間中は奨学金の返済金を免除する。
→医師不足で医学部のみ対象としていたが、定住促進事業として学部は不問とした。
- ・地域自治区について
→「地域づくり事業補助金」により、市民の主体的な地域づくりを実現している。

